

「あづち信長まつり2019」

来年の大河ドラマ主役の明智光秀で参加しました！

西川 秀夫

信長まつりには毎年参加しておりますが、今回は特別により記念の年になりました。「信長まつり協議会」が初めて武者行列の参加者を一般公募したのです。

それまでは安土町民のみで、武将は安土の区長がし、姫役も安土町民から選ばれていました。私などは甲冑衣装で毎回参加していても行列にも加えてもらえず会場内を動きまわる程度でした。

しかし、今回は違いました。チャンスとばかり、武将役に応募したら、いきなり明智光秀役。なんと来年のNHK大河ドラマの主役ではありませんか。しかも、出陣式から行列の隊列（織田隊）に加えられ、信長公の後から行進です。

百々橋から信長公が、船でセミノリヨ跡まで行く行程では、側の道から信長公の騎馬に跨り護衛がてら進軍いたしました。セミノリヨ跡よりJR安土駅より安土小学校の会場までの道中は徒歩での行列になりましたが、観客から信長と握手してほしいとの要望に応じて握手したら、カメラのよい被写体となったようです。後で知りました。が毎日新聞にその場面が載っていたようです。

3時頃までは武将の格好のまま楽市となった会場をうろつき、武将仲間と歓談したりしてすごしました。ボランティアガイド協会の射的ゲームコーナーにも立ち寄りましたが中々盛況でした。



凛々しい西川さん甲冑姿

「時代劇のまち近江八幡」

大盛況、イベントで紙芝居を披露

出口 博之

紙芝居を居チームとして、JRハイキングをはじめメジャーの活躍の場を広げていく目的で、「秀次さんと、近江八幡」の弁士を増やすために練習を重ねてきましたが、5月16日の練習に今年の「時代劇のまち近江八幡」イベントに紙芝居を披露しようということになり、弁士を決めて当日に臨むことになりました。

6月9日の11時半の部は、熊木さんと南さん、2時の部は伴さんと嶋林さんに対応していただきましたが、どちらも多数の聴衆があり、大盛況でおえることができました。事前に小島さんにポスターやチラシを作ってください、ほかのメンバーとともに当方もかわら版屋の扮装で、チラシ配りをしましたが、当日は琵琶湖放送の「きらりん滋賀」の撮影が行われていて紙芝居も後日放送されてきちつと宣伝いただきました。また、読売新聞からも取材を受け熊木さんと当方にて対応しました。

これからも、このイベントにも引き続き参加し、より紙芝居チームの活動が活発になるようにしていきたいと思えます。

13回目の参加

西川 秀夫

「あづち信長まつり」(6/2)から一週間後の6月9日には「時代劇のまち・近江八幡」が八幡堀周辺で開催されました。今回で第13回目になります。

第1回目の「時代劇の似あうまち・近江八幡」から参加し続けていますが、今回から名称が「時代劇のまち」に変わりました。なんでも現市長の助言があったそうです。内容は従来どおり変わっていません。

私も素浪人で参加です。ただ参加者も多くなりました。今回の紙芝居チームの観光ボランティアガイド協会から



の参加はもとより、県外からも侍や町娘などに扮して参加されています。知名度も上がり定着してきたということでしょうか。

これに気を良くした観光物産協会の関係者は次回11月23日の秋の陣では、エリアを八幡山まで拡大し、NHK大河ドラマ「麒麟が来る」の宣伝も兼ねて甲冑衣装での参加もOKという事になっています。そうすればまた各地からの甲冑武将隊も多く参加されてくることでしょう。



エイエイおくと元気な掛け声で 出演者の皆さん